学習指導案（教科：総合的探究の時間）

１　授業内容

科目：地域を元気にしよう

単元：人口減少社会の課題を解決するためにー高校生の提案と実践

２　本時

(1) 単元の目標

本校の周辺地域でも人口減少に歯止めがかからなくなっている地域が多く見られる。そうした地域では、人口減少により、学校の廃校やスーパーマーケットの閉店など様々な生活・社会インフラが崩壊する負の連鎖がすでに起こっている。地元の高校生がそれらに関わり、課題解決のための提案・実践を行うことを目標とする。

(2) 本時の目標

各班の発表を聞き、審査する。その結果を踏まえ、自分の班の探究を振り返り、ポスターの改良につなげ、最終発表に備える。

(3)本時の評価規準

①探究した成果について他者に発表する際に、相手に応じて効果的に表現することができる。（表現力）

②自らと異なる意見や立場の違いを理解するとともに、それらを受容し、自らを振り返り、次の課題につなげることができる。（柔軟性）

(4)本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (5 分)	○本時の授業の内容を知らせる。	・教員の説明を聞く。 ・ワークシートを受け取る。 《ICT１》	・質問、疑問、感想等をふせんに記入し、他の班の探究の深化・向上に資するように伝える。 ・生徒の活動が円滑に実施できるようなワークシートを作成し、配布する。
展開 (40 分)	○ポスター発表 （各班３分） ○質疑応答 （各班３分） 〇ふせん記入・配布 （各班３分）	・ポスター発表を行う。 ・他の班の発表の際には、質問・意見・感想等をメモし、後でふせんにまとめやすいようにする。 ・質問があれば行い、回答を踏まえてふせんをブラッシュアップさせる。 ・最終的にふせんの内容を整理し、該当する班に配布する。《ICT2》	・発表の際には、エビデンスを明確にすることを伝える。 ・多様な意見に出会う場を作り、活発な意見交換ができるように、１つの発表に対して、一人一つ以上のふせんを作成することをルールとすることを伝える。

まとめ (5 分)	○班別の振り返り ・	・各班で、回収した意見・質問等を踏まえ、改善点を検討する。 ・ルーブリック評価を受け取り、評価についての連絡を聞く。《ICT３》 ・結果をワークシートに記入し、教員に提出する。《ICT５》 ・最終発表に向けてのポスターの改良などの課題に取り組むにあたっての相談をする。	・最終発表に対するルーブリック評価の内容を確認させ、それを踏まえた改善を求める。 ・評価を行う先生に、ルーブリック表を共有する。《ICT４》

(5)ICT 活用計画

ICT を主に活用するのは、展開の生徒の発表に対する感想・意見の送信部分からまとめまでの部分である。

《ICT１》授業準備として教員が作成したワークシートを、生徒全員に配布する。

・・・課題配布機能

《ICT２》生徒がふせんを送受信しあう。

・・・生徒によるふせん送受信機能

《ICT３》教員が作成したルーブリック評価の表を、生徒全員に配布する。

・・・ふせん配布機能

《ICT４》教員が作成したルーブリック評価の表を、評価を行う先生全員が見ることができるように共有する。

・・・保管機能

《ICT５》生徒がワークシートを教員に提出する。

・・・課題提出機能

（ClassPad.net を活用する効果性について）

・送受信機能を利用することで、１班に対して他の班からの意見を容易に回収でき、活発な意見交換を効果的に行うことができる。

・コメントカードをデジタルブック上で管理することができるため、学びの記録の管理をしやすい。